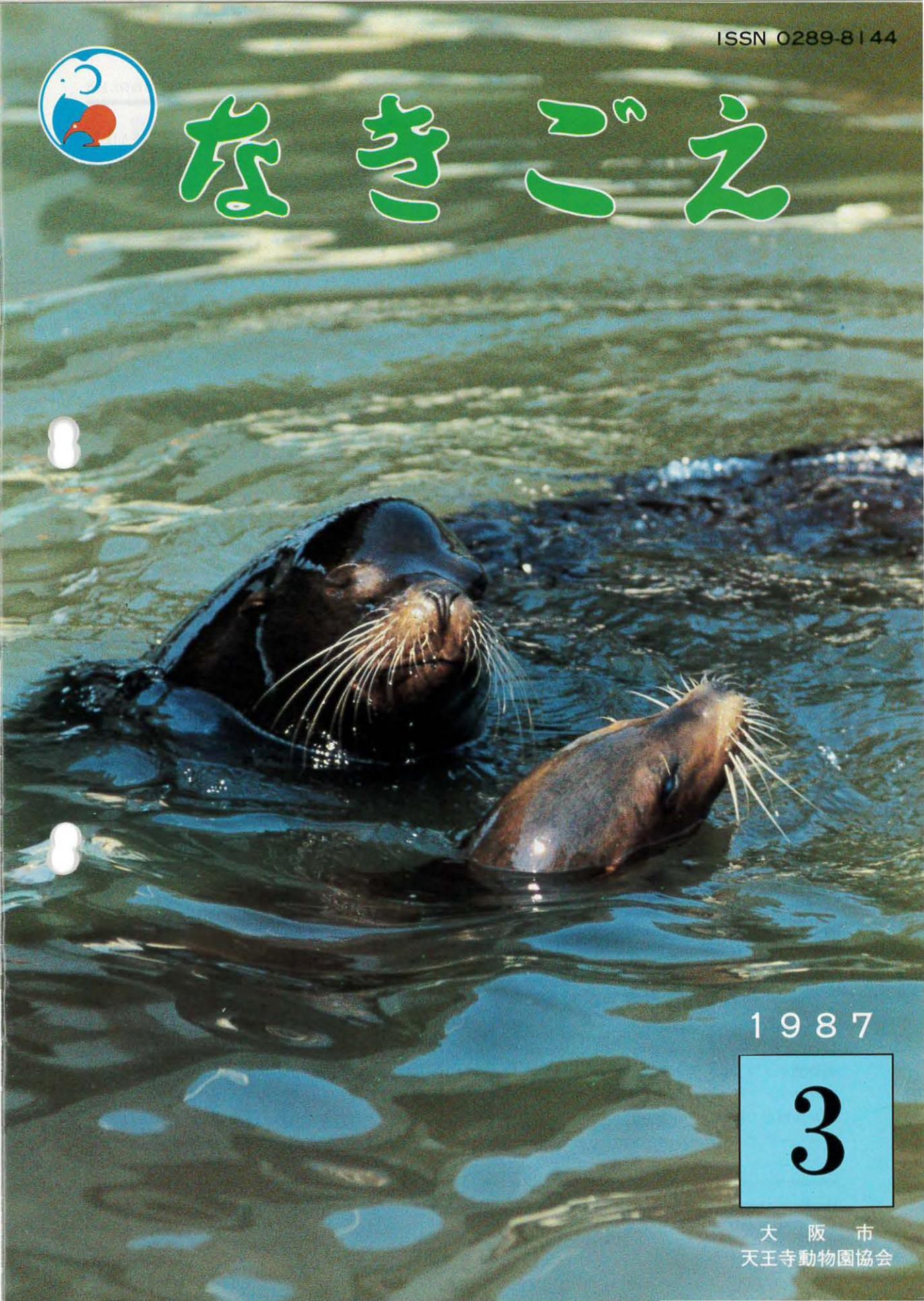




# なきごえ



1987

3

大阪市  
天王寺動物園協会



恩 地 実

大阪市西淀川区一ごく最近でこそだいぶよくなったが、少し以前までは「公害」の代表といってもよい所であった一で筆者は生れ育ち現在も生活している。そのような所だが、昭和30年代初期には、まわりに川や池が多くあり、ギンヤンマ捕り、フナ、カエル、ザリガニ釣りに子供の頃の一日が終っていた。自宅には祖父が、ニワトリ・ウサギ・ヤギなどを飼っており、それらの世話が日課であった。また、夏休みには一ヶ月以上1人でいなかの親類の所へいき一日中田んぼや池で遊び、夏休みの終りには大阪へ帰るのがいやで泣いたりしたこともあった。

高校二年の時には、天王寺動物園の「50年のあゆみ」が刊行され、非売品と新聞にでていた。そこで動物園まで譲ってもらいにいき、天王寺動物園に勤めるにはどうしたらよいか尋ねたりした。大学を理学部の生物学科に行くか農学部や獣医学科にするかで大いに悩み、結局生物学科になった。しかし、生物学科での「体の中」の話には興味がなく、「生態」がやりたく、大学の3回生のときの夏休みに2ヶ月間北海道の林業試験場へ行った。そこで「ネズミ」と出会った。それがかれこれ20年になるネズミとの最初の出会いであった。

現在、高槻市の淀川河川敷でハタネズミの調査を行っている。そこは、春、セイヨウカラシナが満開

の時は大阪近郊にこんなところが……と思うほど素晴らしい所である。そこで、春と秋のハタネズミの繁殖期は2週間に、その他の時期は3週間に一度、1日3回(朝、夕、深夜)ワナの見廻りを3昼夜連続で行うサンプリングをしている。30×30mを2.5m間隔の計144ヶ所の方形区に区分し、さらにその周囲に5m間隔で3重のラインを引き45×60m(一方は川)、計81ヶ所にワナを置き、その範囲を調査地にして、1ヶ所当り1~3個の生捕りワナを仕掛けている。捕ったネズミにマークをつけて放し、また捕まることによって、個体数、ホームレンジの大きさ、繁殖状態、幼体の成長などハタネズミの生態を調べている。ハタネズミは、個体数が大幅に増減することで有名で、1ha当り1100頭を越えることもある(海外では同属のハタネズミが数千頭になったという報告もある)が、ここでも約2年の間に1~115頭と変化した(約4倍するとha当りになる)。しかも、増加は繁殖によるものだけでなく、繁殖期前に成体の移入がある事など興味深い事実がいろいろ判ってきた。

また、ここでは今までに、ハタネズミの他にアカネズミ、カヤネズミ、ハツカネズミのネズミ類、モグラの仲間のジネズミ、コウベモグラやイタチ(ホンドイタチとチョウセンイタチの両種が捕獲される非常にめずらしい所で今後の研究課題となろう)、マムシ、アオダイショウが、また出水したときにはイシガメがワナに入った。さらには、ネコ・イヌが捕れたこともある。その他鳥類はいろいろおり、今はコミミズクがネズミを狙って調査地の上を飛び回っており、困っている。

このように、ここは大阪近郊では数少ない野生鳥獣の豊富な場所なので、なんとかこのまま現状維持ができるよう願っているところである。

(甲南高校教諭)

なきごえ3月号もくじ

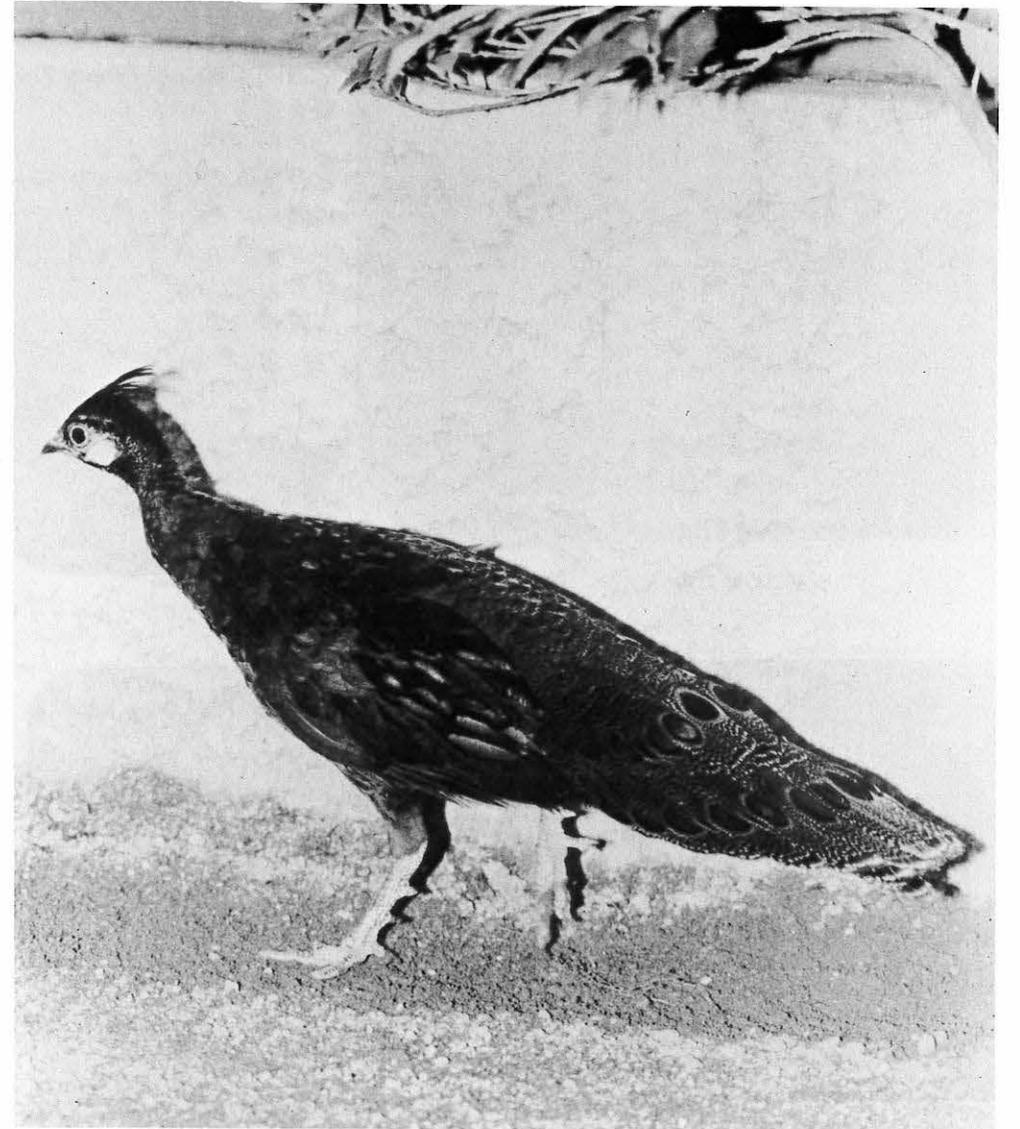
動物と私 ..... 2
"パラワンコクジャク展示開始" ..... 3
動物園グラフ・動物園日記 ..... 4-5
シマウマ・アラカルト ..... 6-7
サル舎担当者座談会 ..... 8-9
キーパーズアイ ④ ..... 10
動物園ニュース ..... 11

表紙の写 真説明

"カリフォルニアアシカ" (Zalophus californianus)

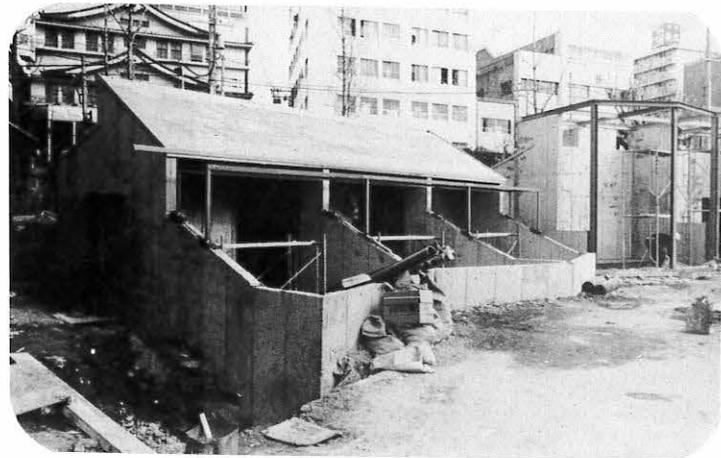
このアシカはカリフォルニア沿岸の海に主として生息します。5~6月ごろの繁殖期にはカナダ、アラスカ沿岸に上陸し、一夫多妻のハーレムを形成して出産と交尾を行います。

(撮影：森本委利)



"パラワンコクジャク展示開始"

パラワンコクジャクはコクジャクの中でも一番美しいものだと言われています。入園した個体は一昨年生まれですから、今春には成鳥の美しい姿を見せてもらえると期待しています。(撮影：早川 篤)

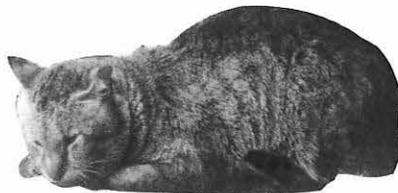


ジャコウネコ舎

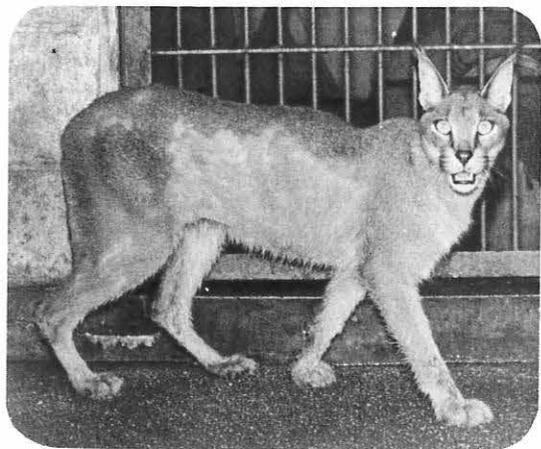
## 小獣舎ただ今改築中!!

当園では、現在小獣舎の改築工事を行っています。

この工事はジャコウネコの仲間とヤマネコの仲間を系統分類学的に展示するためのものです。小型ネコ舎は観客通路側をガラス張りにし、完成後は間近でヤマネコがご覧になれます。(撮影：山下奉之)



⑤ ジャングルキャット



⑥ カラカル

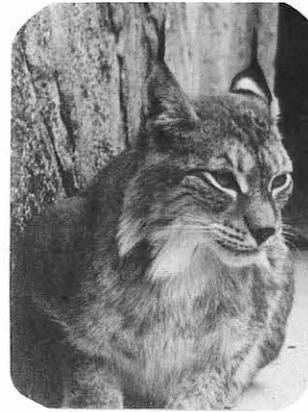


① ハクビシン

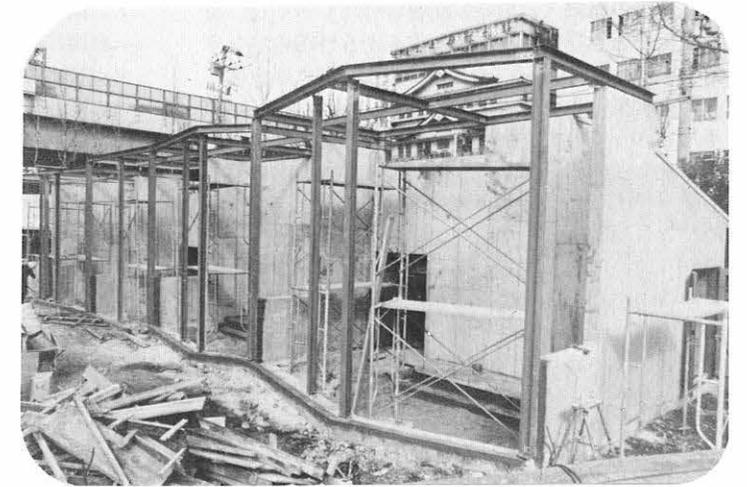
## 12・1月の動物園日記

- 1 / 6. カラカラ、エミュー、クロオオカミが交尾しました。
- 1 / 8. カラカルのメスが後肢に裂傷を負ったので麻酔、捕獲し治療を実施しました。昨年生まれのカリフォルニアアシカ2頭の体重測定を行ないました。
- 1 / 9. タンチョウのオスの翼の整形を行ないました。
- オランウータンの“サツキ”の妊娠が確実なため、栄養補給をはじめました。
- 1 / 11. 園内で、ボランティアによるスポットガ

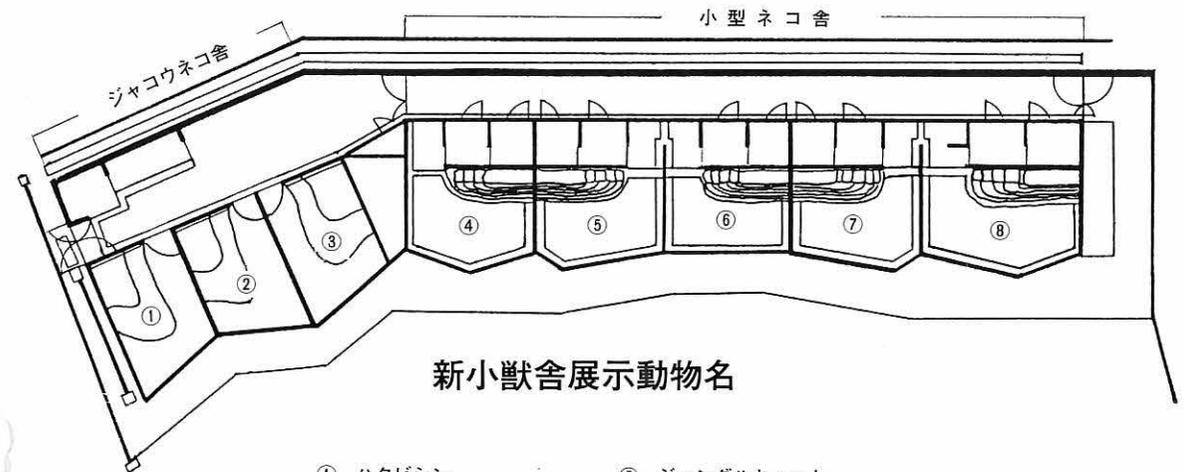
- イドとカイウサギの触察がありました。
- 1 / 13. シベリアオオカミが交尾しました。(16日まで)
- 1 / 14. コウカンチョウが足の骨折で入院していましたが、治癒したので退院させました。
- 1 / 16. キジ類にワクチンを接種しました。岡山の池田動物園よりヌートリアのメス1頭の寄贈がありました。
- 1 / 17. コンドルが交尾しました。(18日まで) ワシミミズクが産卵し、抱卵に入りました。
- 1 / 18. 第21回動物のお話とスライドの会「ウサギのお話」をレクチャールームで開催しました。
- 1 / 19. 夜行性動物舎のスローロリス、ショウガラ



⑧ オオヤマネコ



小型ネコ舎



新小獣舎展示動物名

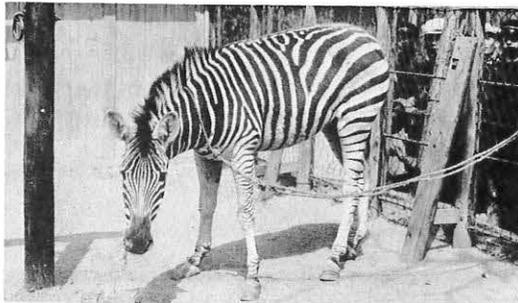
- |                |             |
|----------------|-------------|
| ① ハクビシン        | ⑤ ジャングルキャット |
| ② マレージャコウネコ    | ⑥ カラカル      |
| ③ インドジャコウネコ    | ⑦ ボブキャット    |
| ④ アジアゴールデンキャット | ⑧ オオヤマネコ    |

- ゴ、オオガラゴの各展示室に敷かれている枯葉を新しいものと交換しました。なきごえ編集会議を行ないました。
- 1 / 20. シュバシコウの繁殖期にそなえ、モモイロペリカンに飛翔防止の処置をしました。
- 1 / 21. コシアカツバメ、コガモ、トラフズクの保護がありました。グラントシマウマの子が堀に落ちましたが幸いケガもなく自力で運動場に戻りました。
- 1 / 23. 保護され、元気を回復したゴイサギを放鳥しました。
- 1 / 25. キョンが1頭生まれました。

- 1 / 26. キンカジュウが交尾しました。
- 1 / 28. フクロウを1羽保護しました。特別飼育研究会が開かれました。
- 1 / 29. ライオンのメス“ハル”が最近不調なので麻酔して血液検査を行ないました。
- 1 / 30. カバが交尾しました。
- 1 / 31. エミューが2卵目を産卵し抱卵しています。
- 2 / 1. フクロギツネの袋の中に子供のいることがその袋の大きさなどからわかりましたが、オスと闘争するため別室に隔離しました。
- 2 / 2. オランウータン“サツキ”の尿検査を行ないました。

1. 渡来の歴史

古い書物をひもときますと古くから外国の珍しい動物が入ってきていることが分ります。例えばラクダが推古天皇の7年(599年)に、ゾウは応永15年(1408年)に入っています。以来、トラやクジャクやヒクイドリなどの渡来をみますが、何故かシマウマの名前を見出すことができません。日本にシマウマが初めてお目見えしたのは意外と遅く、明治時代に入ってからで、1908年(明治41年)11月15日に京都市記念動物園がドイツのハーゲンベックから1頭を購入しています。このあと京都市記念動物園は再度、1910年(明治43年)2月2日に同じくハーゲンベックから1頭を購入しています。当園に初めてシマウマが入ったのは1926年(大正15年)4月7日で動物商、中田和平から4500円で1頭を購入しています。上野動物園では、それより遅れて1931年(昭和6年)にチャップマンシマウマを1頭1950円で購入しています。当時、シマウマの価格は非常に高く、1950円~4500円という価格は当時のサラリーマンの月給の32倍~75倍で年間給与の2倍以上となります。ちなみに当時の初代園長、林佐市氏の大正13年の年間給与が1700円、これから考えると非常に高価な買い物といえるでしょう。このあと当園では、1939年(昭和14年)2月19日にさらに3才のメス1頭を1950円で購入していますが、初めて購入した当時と比べ半分以下の価格になっています。このようにシマウマの価格が高いのは、当然のことながら国内で未だ順調に生産される態勢にはなっておらず、その全てを外国の動物商からの輸入に頼っていたことによるものでしょう。



当園初来のグラントシマウマ、まだ若く幼若な毛が残っているシマウマは漢字で表わすと縞馬となりますが、当園に戦前から残っている動物台帳をみてみますと、昭和16年当時、シマウマの表記は漢字で「斑馬」となっていました。「シマ」ならぬ「マダラ」となっているこの名前をもう少し調べてみますと、中国では、シマウマのことを「斑馬」(Pānmǎ)パンマと呼び、縞を斑と表わします、たぶん当園では縞馬と表記すべきところを中国で使われている斑馬をそのまま引用したものと考えられます。

2. 飼育

当園における飼育の歴史を見てみますと、シマウマが初めて入園して以来61年間に27頭が飼育されています。(流死産3例は除く)、その性別内訳は雄10頭、雌15頭、不明2頭で、最多飼育頭数は昭和61年10月末の一時期でしたが7頭を飼育しました。長期の飼育記録は1926年(大正15年)に入園したグラントシマウマで、1945年(昭和20年)7月9日に死亡するまで19年2ヶ月生存しました。この記録は現在も塗替えられておらず、当時、激動変化の時代をいかに大事に飼育されたかわかります。その次の記録は戦後1964年(昭和39年)に入園したメスのシマウマ(愛称シロ)で14年8ヶ月生存しました。現在飼育中のものでは1973年(昭和48年)7月7日に当園で生れたメスのシマウマ(愛称レディ)で13年、次いでオスのシマウマ(愛称ラッキー)の11年8カ月が続き、初代の19年2ヵ月に迫る勢いです。シマウマの寿命は25年程といわれていますが、飼料の改善、開発、飼育技術の向上とあいまって飛躍的に年数が伸びていくものと思われまます。現在、レディもラッキーもすこぶる元気ですので早晚、戦前の長期飼育記録は更新されるものと信じています。

野生動物のシマウマは仲々人に馴れないものと思われがちですが、うまく調教すれば騎乗することも馬車を引くことも可能だと言われています。当園でもそれに似た良い事例があります。6年間世話を続けたキーパーとの間で強い信頼関係ができ、彼がシマウマ舎に入ると安心して彼の側に寄ってきました。そして、彼が与える乾パンを手の平から受けとり、体のブラッシングまでうけました。もっと端的な例では仲間のいざこざでシマウマの仔がよくモート(堀)に落ちますが、自分ではい上ることもできず、母親はおろおろするばかりです。こんな時、彼がモートに降り、シマウマの仔を抱きあげて元に戻すのですが、この間、母親はこのキーパーの動作をすっかり安心し、信頼しきって見守っています。これらはキーパーとシマウマとの間にお互い強い信頼関係で結ばれているためだと思われまます。しかし、彼以外のものがシマウマ舎に入った場合、全てのシマウマは耳をそばだて警戒を含めた特有の緊張感がみなぎることはいうまでもありません。

野生下におけるシマウマのエサは、イネ科、カヤツリグサ科などの雑草や樹皮、樹葉、芽などを食べますが、飼育下ではイネ科などの青草、干草、フスマ、オカラ、ヘイキューブ、ワラ、根菜などを与えます。当園では干草のチモシー6kg、ペレット1.5kg、人参1kg、フスマ500g、その他、塩、カルシウムなど計9kgを1頭につき与えています。この他、馴致を目的に乾パンなどを少量与えています。

3. 繁殖

昨年、当園では7月~10月にかけ3頭のシマウマの仔が生まれました。この数は1926年(大正15年)にシマウマを初めて導入して以来の最高出産数で、特に10月末は親を含め7頭の大世帯でした。この他にトカラウマとの雑種のホープラがおりますので550㎡の放飼場(別図参照)は8頭ものウマが所狭しと駆け回っていたことになりました。



シマウマ一家

しかし残念なことにこの記録は10月に生れた仔が翌月早々に死亡したことから途切れてしまいました。61年間のシマウマの飼育の歴史の中で出産例は17例(流死産3例を含む)を数え、このうち、2ヵ月以上成育したものは12例あり、この中で現在も生存中のものは6例で、他園へ引取られたものが2例あり、67%が健康に育っています。また、3世(孫)の誕生も4例あります。

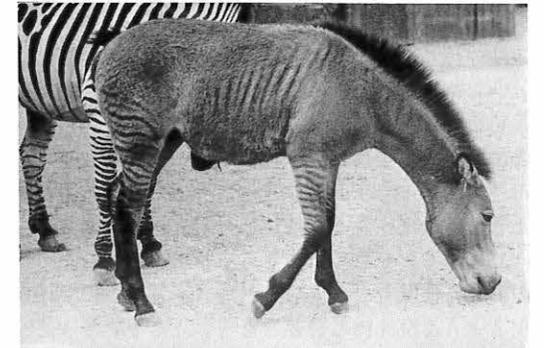
過去に最も多くの出産が見られた月は7月で、次いで6月となり、4、5、8月が同数でこれに続きます。しかしながら10月や11月に生まれたものはいずれも短命で成育していません。こうしてみると飼育下といえどやはり青草の繁る初夏に出産が集中するようです。

1個体の出産記録は7産(流死産3例を含む)が最高で、次いで3産となります。残念ながら戦前は1例の出産もないようです。

以上、これらの成績は大きな動物公園、サファリと比べると驚くほどの数字ではないかも知れませんが、都市型動物園としての当園にとってみれば良好な成績を残しているのではないかと思います。

当園ではシマウマ舎にシマウマと違うホープラが1頭います。しばしば動物園ではスペースの関係からシマウマ以外に道産子やポニーやトカラウマなどを雑居させることがあります。当園もご多分にれず同居させていた時代がありました。このためにトカラウマのオスとグラントシマウマのメスがペアを作り仔を生みました。これは種間雑種といわれるもので、生まれた仔は両方の形質を兼ね備えています。例えばウマの特徴として体色は茶褐色です。反対にシマウマの特徴としては茶褐色の体色の中に

黒いシマウマの縞が臀部や前後肢の下部に明瞭にみられます。このようにウマのオスとシマウマのメスとの間に出来た雑種のウマを「ホープラ」と呼び、この逆にウマのメスとシマウマのオスとの間に出来た雑種を「ゼブロース」と呼びまます。



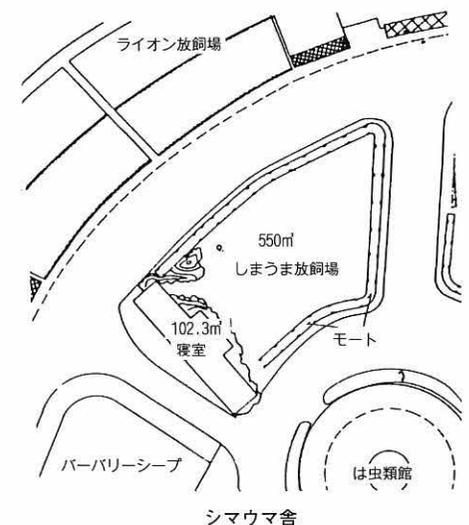
雑種のホープラ、縞が明瞭にわかります

この他、ロバとの間に出来た雑種を同様に各々ドブラとかゼブロイドと呼びまます。しかし、異種のシマウマ同志では生息地域の違いや習性、ディスプレイの違いから仲々雑種はみられないものです。

ところで、シマウマの妊娠期間は概ね345日~375日程度で毎年同じ時期に出産します。これは分娩後7日~2週間以内に発情があり、交尾、妊娠するために出産期が一定化します。このサイクルとメカニズムはアシカなどの繁殖周期に非常に似かよっています。しかし当園では発情交尾をめぐって多くのメスとオスの間に闘争があるためオスを隔離し、出産期にずれと幅を持たせています。

シマウマにまつわる興味深い話はいろいろありますが誌面の都合により行動や分類等については次回

の機会にゆずりたいと思います。(飼育課:中川哲男)



シマウマ舎

## サル舎担当者座談会

なきごえ23(3), 1987

サル舎が完成して一年が経過しました。そこで今回は新旧サル舎担当の浅田主任、原田、山野、土谷係員に、実際の作業を通して感じた事を話し合ってもらいました。

**原田** 施設について気になる所があるね。例えば高圧洗浄機を使って清掃しているのですが、汚れはきれいに落ちるのだけれど水量が十分に確保されていないので、忙しい時など複数で清掃できないね。

**浅田** そう、土谷君と2人で清掃する時には通常のホースとデッキブラシを使ってやっていますよ。

**土谷** 運動場を洗う時はいいけど、寝室を洗う時にはしぶきでビショ濡れになってしまいますね。

**山野** 今後はガラス洗いや油汚れをとる為に洗剤が出るような洗浄機も必要となってくるでしょう。



高圧洗浄機による清掃風景

**原田** 寝室の水ハケが悪く一日中濡れたままの部屋が3室くらいあるよ。

**山野** あれは施工段階でのこう配のつけ方の単純なミスだから、その時点でもっと注意するべきだったな。寝室の水飲みも大きさと深さのバランスが悪いように思うんだけど？

**土谷** でも位置的には以前に比べて低くなったのでサルにとっては飲み易くなったんじゃないですか。

**原田** そう、おかげで固形飼料が与えやすくなった。今後は飼料もペレットを主にしたものに変えていこうと検討中なんです。ペレットを与えられるというのは栄養的な面や質的な面で安心だし、管理も楽になりますよ。後は飼料のバランスやビタミンなどが問題になってくるんだけど。

**山野** エサの投入口はサルを室内に隔離している時など大変役に立ちますよ。あれは便利だ。それと寝室の扉にある覗き窓は大きくて見やすいね。

**土谷** でもテナガザルでは、網の間から手を出してくるのでビックリしましたよ。注意しないと。

**山野** サルによって網の目の大きさを細かくするか考えてもいいけど、サルの癖を早く知るのも大切

な事なんだ。

**原田** 網の目が広い方が治療や投薬にすごく便利なんです。

**土谷** 現状では屋内観覧通路は使われてませんね。

**原田** 今は原則として雨の日でも屋外展示するという事にしていますから。というのは一度でも寒いからといって屋外に出さないと、彼らは頭が良いからそれを覚えてしまって寒い日には外に出なくなってしまうんですよ。だから私が飼育している限り、豪雨や大雪が降らない限り屋内展示場に入れないでしょう。

**土谷** そうなると寝内の装飾をもっと単純にすればそうじもしやすくなったろうし、その分の予算を他にまわせたのに。

**原田** 私の考えは寝室と展示場はあくまでも別のもので、寝室では動物達が安心して休める様にしてあげたいからね。

**浅田** 屋外展示場は高さも以前に比べてウンと高くなって見やすくなったり、止まり木も自然の木を入れたので見た目も良くなったんじゃないかな。

**山野** 擬木はなかなか上手くできていると思うよ。

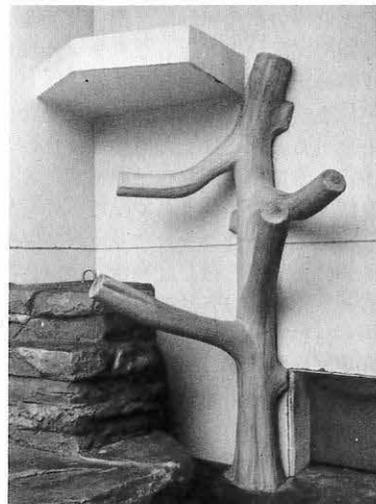
**原田** ただ止まり木の付け方が少し単調すぎたかもしれない。地上性・樹上性のサルによって位置を変えていこうと考えてるんだけど。例えばテナガザルやフランソワルトンではもっと高い位置につけるとか工夫していきたいね。

**土谷** 擬岩はきれいに仕上がってると思うけど、ヒビ舎では高い所にまで造ってあるのでそうじする時に登れない所や凸凹がありすぎてきれいに汚れが落ちない所がありますね。

**原田** 確かに少しこりすぎたかもしれないね。それと壁の色だけど、ヒビ舎の方は茶色の濃い色なので糞の汚れなんか

があまり目立たないのだけれど、サル舎の方は緑のうすい色なので、汚れが目立ってしまうんですよ。

**浅田** それに壁に凸凹があ



擬木と擬岩

なきごえ23(3), 1987

るから余計に目立つんだね。サルは糞を壁に塗りたくったりするから。管理する側から言えばあまり凸凹のない平面な仕上がりの方が良かったかな。

**山野** 以前のサル舎では展示場の網越しに隣のサルにちょっかいを出して指を噛まれたりするトラブルがよくあって今回は隣との間に少し間隔をあけたんだけど、まだ不十分だったようだ。もう少し間をあけるか網目を細かくするか検討の余地はあると思うけど。

**原田** まだトラブルがあるね。サルの並べ方にも問題はあると思うよ。

**浅田** それよりも、もっと問題なのはやっぱり柵だろう。サル舎では柵を低くして動物舎との間に植木を入れてみたけど、まだまだ柵を越えて入る人は多いし、私達動物園の人間としてみたら柵などなくてすぐ間近で動物達を見てもらいたいと思っているけど1人でもそういう人がいる限り、柵を作るしかないし、サル舎だけじゃなく今後新築する動物舎でも一番の悩みの種です。

**原田** そう、屋内展示場を使わないのも一つにはそれもあるんですよ。何しろガラス一枚ですからね。動物が動かないといってガラスをたたいたり、ガラスが割れたりしたら考えるとゾッとします。

**山野** もっと柵と動物舎の間の植栽を充実させるか監視体制を考えないといけな。

**原田** 特にうちはひどいから。今のままでは堀にでもするしかないかもね。

**土谷** エサを与えたり柵の中に入ったりする人がいなければ、柵など必要ないし、もっと身近に動物がみれるのに。残念ですよ。

**山野** ステンレスの網は最初まぶしいと思ったけれど、今は少し汚れてきたのかあまり反射しなくなって見やすくなってきたよ。

**原田** 予備室がサル舎の一

番端にあるけど中途半ばな設備しかなくて、正直に言うともあまり使い物にはならないね。治療動物の収容室にはとても使えない。監視室として使うのならサル舎の中

央にもってくるとか少し高くして全体を見れるような位置にもってればよかったのに。

**土谷** 何だか悪い所ばかり出てくるな。

**山野** それはそうだよ。完璧な動物舎なんてできるはずないからね。でも使いにくい所をひとつひとつチェックしていく事、そして次に動物舎を建てる時に役立てていく事が大切なんだ。

**浅田** 管理面では多少の不満はあるけれど、サルにとっては快適な建物になったと思う。日当たりはずっと良くなったし、運動場はやっぱり南向きがベストだな。

**山野** 風通しも強制排気システムのおかげで夏場では以前に比べて10℃以上は低くなってよ。

**土谷** キーパー通路が広く高くなって作業もしやすいし、動物舎が一直線なために見通しがきくので安心して作業ができます。



広くなり作業のしやすくなったキーパー通路

**原田** 運動場だけじゃなく寝室も日当たりがいいよサル達ものびのびしてきたし。まあ今後、動物園は衛生面と作業の機能性と動物の快適性を目指していくべきでしょう。

**浅田** 僕はさっきもいったけど柵の問題が気になるな。これは柵を高くするか低くするだけの問題じゃなくて、動物園の動物と人間との関わりという事で皆んなで考えていかないといけないと思うよ。

**土谷** 僕はこれからいろいろ勉強しないと、特にヒビ類の繁殖に力を入れたいですね。

**原田** 部屋数が14室しかないんで、僕の希望としてはテナガザルは別に飼育場を建ててもらって、サル舎には原猿類等を入れて種類別に充実させて展示するか、同種のものに重点をおいて集めたものを展示するかにしていければいいと思う。今後、サルも国内調達となっていくと思うから各園間でトレードしていけるようにしていかなければいけないと思う。

今後ともみんな協力して頑張っていこう。

(文責: 早川 篤)

# キーパーズアイ ④

## ☆ 布団をかぶったマレーグマ

暑い地方から来たマレーグマは寒さが苦手なので、毎年12月ごろから翌年の3月まで寝室に麻袋を敷いてやります。初めのころは口にくわえてふりまわしたり、ビリビリに引き裂いたりして遊んでいましたが、朝になると麻袋の上で寝ています。

ある朝、私がいつもの通りクマ舎に行き、寝室内を見てみると、マレーグマのオスの姿がみえなかったのです。いつもなら麻袋の上で寝ているのですが、この日はよく見てみると自分の背中に麻袋をのせて、ちょうど掛け布団のようにして寝ていたのです。そして、朝の挨拶をすると、眠たそうな顔でもぞもぞと起き上がり、大きなアクビをしながら長い舌を出す彼流の挨拶をしてくれました。その時の表情は大変可愛らしいものです。今夜も又、麻袋を布団がわりにして故郷の夢でもみながらぬくぬくと眠っていることでしょう。

(飼育課：土谷正道)



(イラスト：山下奉之)

## ☆ 小獣舎の引越し

今年の3月に新小獣舎(メゾン小獣)が完成しますが、建て替え期間中、旧小獣舎の住人であるネコ科、ジャコウネコ科、アライグマ科、イヌ科の動物達25頭に立ち退き命令が出されました。そこで昨年の11月4日の朝からキーパーや獣医師の手で南園の旧サルアパートまで引越しが行なわれました。その引越し作業の見事な手並みは某引越しセンターにも引けをとらないものでした。

しかし、動物達にとって、永年住み慣れたこの小獣舎には自分達の臭いもたくさんついているのでどこよりも安心して住めるどころです。それを急に旧サルアパートへ引越すのは私自身すごく不安がありました。予想した通り動物によっては一週間も10日も食欲が落ち、落ち着きを失い、一日中ウロウロ歩き回るのもしました。我が子同様の担当動物達に精神的な苦痛を与えてしまいました。もう少しの辛抱です。“メゾン小獣”は君たちが住むのを首を長くして待っているヨ。

(飼育課：松下達夫)



(イラスト：荻野幸司)

# 動物園ニュース

## § パラワンコクジャク来園

1月3日、貝塚市在住のキジ類の愛好家からパラワンコクジャクのオスの寄贈がありました。当園には初めての来園です。

パラワンコクジャクは、8種あるコクジャクのうちで最も絶滅が心配されています。今回、来園したオスは1985年生まれのまだ褐色の羽毛の残る若鳥ですが、成鳥になれば目玉模様の目立つ美しい鳥です。

今回は、オス1羽の来園ですので、早い機会にメスを入手し、繁殖につなげたいものです。(3ページ参照)

## § ニュートリア来園

1月16日、ニュートリアのメスが岡山県の池田動物園のご好意で来園しました。

ニュートリアは南アメリカに分布するネズミの仲間ですが、日本では第二次世界大戦前に毛皮を利用するために輸入されたものが逃げ出し野生化しており、岡山地方では多数生息しています。池田動物園へはよく保護されてくるそうです。



ニュートリア

当園ではオス・メス各1頭とその子供を8頭飼育しているだけで、新しい血統の導入により、良好な繁殖が期待できそうです。

毎日、多くの野鳥が動物園へ保護されてきますが、今年の冬は例年になく、フクロウ類の保護が多いようです。昨年12月27日に大正区でコミミズクが、1月21日に住之江区でトラフズクが、またフクロウが28日に淀川区で、2月1日には堺市で保護されています。翼を骨折しているものが多く残念ながら自然復帰は望めそうにありません。

## § フクロウ類の保護

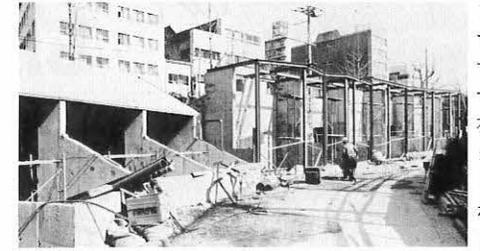
毎日、多くの野鳥が動物園へ保護されてきますが、今年の冬は例年になく、フクロウ類の保護が多いようです。



コミミズク

## § 小型ネコ舎の工事進行中

昨年11月中旬から始まった小型ネコ舎の工事は急



完成が近づく小型ネコ舎

うやく現れてきました。残る金網やガラスの取り付け、塗装などの工事が終るのは3月中旬の予定です。4月からは新装なった小型ネコ舎でシベリアオオヤマネコなど5種のネコ類と3種のジャコウネコ類をご覧いただくことができるでしょう。

## § 寺内信三元園長死去

戦前、戦後の激動の時代を2代目園長としてつとめられた寺内信三氏が肝不全のため、2月10日午前



1時10分、天王寺区の市立桃山市民病院で亡くなりました。86歳の高齢でした。寺内さんは大正7年3月に大阪府立農学校(現大阪府立大学)を卒業され、大正12年5月天王寺動物園に就職されました。そして昭和37年に退職されるま

で39年間にわたり天王寺動物園の発展に尽され、現在の天王寺動物園の基礎を築かれた功績は永く語り継がれることと思います。

## 園内植物だより

春の出番を待つ植物たち

ビニール・フレーム内の苗床では春の植付けを待つ草花のデージー、パンジー、クリサンチマム、石竹、フロックスなどが植えられ、順調に芽を伸ばしています。春になれば、これらの草花で美しくがざられた花壇をお楽しみいただけるでしょう。

## ● お知らせ

動物のお話とスライドの会

3月15日(日) 草食の動物

4月19日(日) ネコの仲間たち

5月17日(日) 1才を迎えたオランウータン

時間：午後1時～2時

於：北園レクチャールーム

## \* 休園日のお知らせ \*

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。5月までの休園日は下記のとおりです。

3月16日(月)、4月20日(月)、5月18日(月)

開園時間は午前9時30分から午後5時までで、午後4時に切符売止めになります。



ゆとり満喫、信頼のカード。

ショッピングから海外旅行まで、  
1枚のカードでワイドにご利用いただけます。  
近鉄がDCおよびVISAと提携した便利な新カード。

近鉄グループカード **KIPS**  
(キップス)

◎国内・海外のDC加盟店すべてに通用。  
◎近鉄百貨店グループをはじめ、都ホテルチェーンなどでの  
ご利用にはいろいろな特典が。

**近鉄百貨店**

お問合せとお申込みは 各店クレジットセンターへ

●アベノ店7階 ●上本町店10階 ●東大阪店本館 ●奈良店4階 ●西京都店1階  
(京都ファミリー)

ひかりのくに

監修・阪口浩平  
指導・宮武頼夫

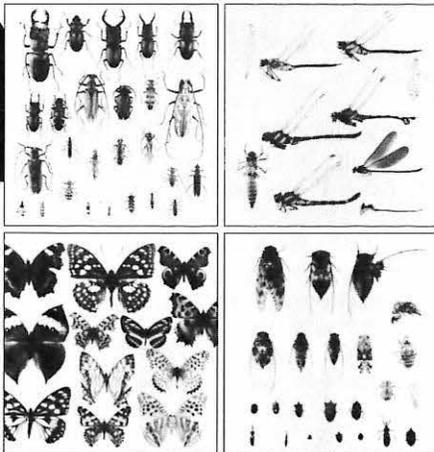
●オールカラー

**むし**  
くらしとかいかた

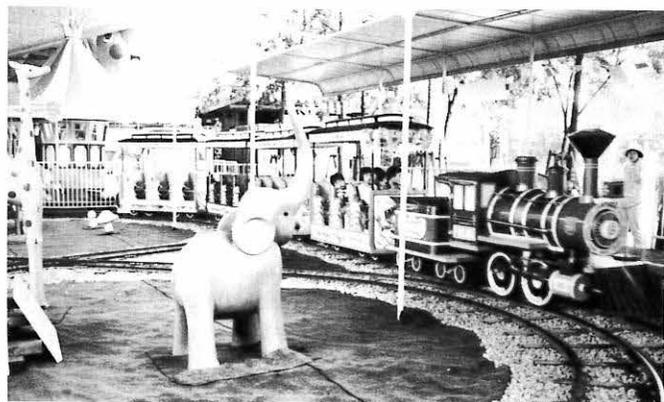
今まで、気にもとめなかつた自然の中で昆虫たちが生きている。みんなも、虫になって自然の中を歩いてみよう。きつとすばらしいことに出会えるはずだ。

580円

ひかりのくに株式会社  
〒543 大阪市天王寺区上本町3-2



たのしいのりものが待っています。



1人1回  
100円  
(1才まで無料)

団体割引  
(30人以上)  
……1割引

久竹娛樂株式会社  
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

いま、フィルムは  
頭脳をもった。



高画質時代をリードする  
はるかに美しく



**フジカラー SUPER HR**

カメラの大林

桜橋本店 ☎341-8091  
三番街店 ☎372-5031



- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」  
①巻・20分(10本常備)
- 対象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申込先/当協会まで、電話かハガキでお申し込み下さい。

動物観察の手引に

天王寺動物園  
ガイドブック

のご購読をおすすめします。  
(1冊¥450)園内各売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会

〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

動物文学会主宰 平岩米吉著

新刊

# 猫の歴史と奇話

(定価・2600円)  
A5判・260頁  
口絵挿画・113図

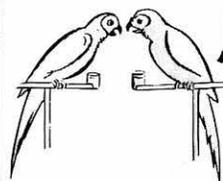
猫に関する古今東西の科学と文献を網羅し、しかも平易な文章で綴った猫の宝典。著者の三十余年にわたる収集研鑽の成果、ここに結実。

☆学術書でありながら、推理もののように愉しく読める猫の本  
☆架空の伝説は別に、猫の珍しい実話400余を収載

## 主な目次

- |                                     |                                       |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 第一章 猫の歴史<br>欧州は古代エジプト、日本は宇多天皇から近世まで | 第二章 猫股伝説<br>老猫化けてさまざまな怪異をなす           |
| 第三章 猫の報恩談<br>蛇を咬んだり、金を運んだりする        | 第四章 野性猫の存在<br>裏日本の山猫、離島の山猫、鬱陵島の猫の渡米など |
| 第五章 猫の奇話(上)<br>長命、多産、三毛猫などの形態の奇話    | 第六章 猫の奇話(中)<br>長距離の帰家記録や鼠を育てるなど不思議な行動 |
| 第七章 猫の奇話(下)<br>マタタビを娯薬とする奇妙な習性など    | 第八章 益獣としての猫<br>あらゆる角度から猫の生態と効用を探究     |

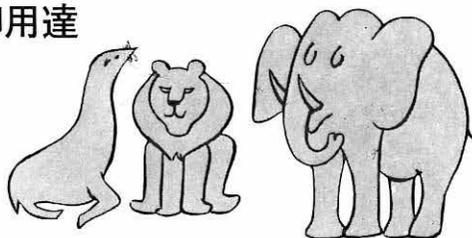
発行 動物文学会 〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話(03)717-1659・振替東京5-9800  
発売 (株)池田書店 東京都新宿区弁天町43番地 振替・東京4-165425



## 鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

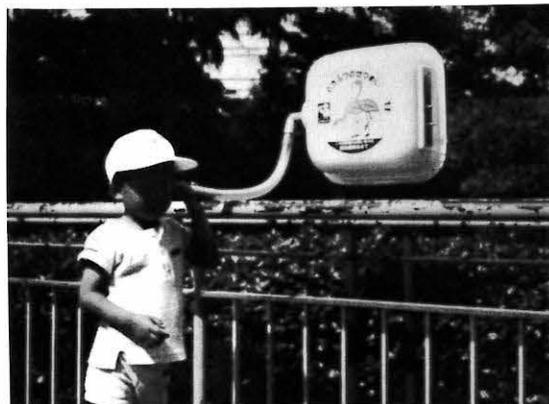
- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円



## 有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号 電話(078)221-8195(代)  
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

たのしい動物のお話は、  
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎  
30数カ所にあります

関西特機株式会社  
電話 06-762-2333  
1回 20円

## 動物園内での

## お食事、ご休憩は

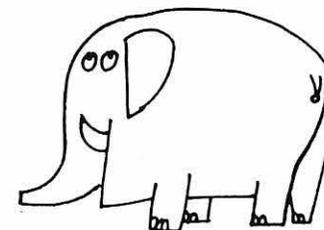
大阪市天王寺動物園内

# 中央売店

☎ (06) 771-0973



## 天王寺動物園内



# 南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74  
電話 (06) 771-7110番

## 園内でのお写真は…

## 動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機しておりますのでご説明に伺いました際は、よろしくお願ひ致します。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせて戴きます。  
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社

TEL 06-856-7444

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。



果肉とソフトヨーグルト  
の名コンビ



# 雪印ヨーグルト

●ブルーベリー・キウイフルーツ・ストロベリー・オレンジ・カクテル

自然の  
おいしさ

野生動物をみんなで守ろう

## WE SUPPORT WILDLIFE!

天王寺動物園協会の売店に“WWF国際保護動物ぬいぐるみコーナー”が新設されました。このぬいぐるみの売上げの一部はWWFJ(世界野生生物基金日本委員会)に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー新設

お申込み、お問い合わせは——

社団法人 大阪市天王寺動物園協会  
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201

株式会社 ファミリア商事部  
TEL (078) 321-0345

●お電話でのお申込みは動物園協会まで。  
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。



●WWF(WORLD WILDLIFE FUND)とは?  
世界野生生物基金。世界中の危機に瀕している動物たちと、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 昭和62年3月10日発行(毎月1回10日発行)第23巻 第3号 (通巻259号)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共)

編集委員

(土井良彦/伊東重朗/藤野勝吉/樽本 勲/中川哲男/前田豊彦/宮下 実/長瀬健二郎/榊原安昭)  
(森本委利/大野尊信/山下奉之/野口秀高/早川 篤/藪野幸司/堀 弘/大川光雄)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823